

事務事業名	じん臓機能障害・特定疾患患者通院交通費助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	
政策名	総合計画体系 0:6	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課 福祉 係(グループ)	
施策名	1:7	障害者の自立と社会参加の促進	課長名	江口 久子	担当者名 剣持 和裕 (内559)
基本事業名	3:3:4:2	社会参加の促進と自立対策の推進	予算科目	会計 款 項 目 事業 0:1 0:3 0:1 0:6 0:5	通院・通所交通費等助成事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 ( 開始年度 平成3 年度 ~ ) ( 年度 ~ 年度 )				

事業概要	全体計画 (単位:千円)
芽室町内のじん臓の機能に障害を有する者が、障害に基づく症状を軽減又は除去する目的で、人工透析療法による医療の給付を受けるため、その医療機関への通院に要した交通費用を助成することにより、じん臓機能障害者の負担を軽減するとともに、福祉の向上を図る。	特定財源
	一般財源
	その他
	事業費計 (A)
	正規職員従事人数
	人件費計 (B)
	トータルコスト(A)+(B)

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 年度当初に前年度の対象者に対して制度の周知と交通費助成申請書を1年配布し、4半期毎に対象者の助成申請に基づき助成金の支払いを行う。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 助成金額 千円 イ ウ
17年度計画 平成16年度と同様に行う。	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 芽室町に1年以上居住するじん臓機能障害者で、障害に基づく症状を軽減又は除去する目的で、人工透析療法による医療の給付を受けるため、医療機関へ通院した町民税非課税世帯に属する者。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 対象者数 人 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) じん臓機能障害者の、障害に基づく症状を軽減又は除去する。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 症状が軽減・除去された人数 人 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) じん臓機能障害者の障害に基づく症状を軽減、除去し併せて交通費の助成により経済的な負担の軽減を図った。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 経済的な負担軽減が図られた人数 人 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	
投入量	事業費	千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源	千円	1,195	947	170	406	406	406	
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	1,195	947	170	406	406	406	406
	人件費	人	2	2	2	2			
正規職員従事人数	人			0.0000					
人工	年間								
人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,195	947	170	406	406	406	406	
活動指標	ア 千円	1,195	947	170	406	406	406	406	
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 人	59	57	13	15	15	15	15	
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 人	59	57	13	15	15	15	15	
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 人	59	57	13	15	15	15	15	
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 対象者からの要望	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 平成16年度から対象者を住民税非課税世帯に限定したため対象者が減少した。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	通院費の助成を受けることにより、障害の程度の維持・軽減を図り、地域への復帰や社会参加が可能となる。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	助成の負担割合の見直しは考えられるが、すべてから手を引く事は出来ない		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	平成16年度から対象者を住民税非課税世帯に限定した。		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	交通費の助成により既に高い成果が上がっている。		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	対象者の経済的な負担となる		
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 他の交通費助成事業との統合が考えられる  <input checked="" type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]			
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】			
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	対象者の経済的な負担となり、通院の回数が減少することが考えられる。		
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	他の交通費助成事業との統合により、手続きの簡素化を図り所要時間の削減が可能となる余地がある。		
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	対象者を町民税非課税世帯に限定しているが、負担割合の見直しにより適正化の余地はある		

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果  <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
低下		×	×																				
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？  対象者の理解が得られるか、また通院回数の減少を避けなければならない																							